

に離れた距離でも雨量が異なることに気付き、雨の降り方に興味を持つようになりました。雷雨のときは、雷雲の位置や風の様子などに注意を払うようになり、観測の結果、学校の北西方向にある団地の建物付近に雷雲が現れると、学校では雷雲に向かって南東風が吹き始め、やがて雷雨になりやすいことを発見しました。このことから、運動場などでの活動時に雷雨がある場合、生徒は雷雨を予測し、早めに待避するようになりました。

3. おわりに

ここに紹介しました教材については、天気の変化に大きな影響を与える自然界の水のゆくえを追いながら、児童生徒が気象の学習内容を深めていくことに役立つものと期待しています。教材の製作に当たっては、身近にある材料を使い、児童生徒の手で製作できるもの、装置が簡単で分かりやすいもの、児童生徒一人一

人が観察実験できるものなどとなるよう、工夫改善を進めています。また、児童生徒が安全に工作できるようにするため、電熱線を利用したびん切り機、プラスチック板の折り曲げ機、発泡スチロール板をつくるための器具なども、教材の製作に合わせて自作しています。

今後とも、できるだけ多くの方々から御示唆、御意見等をいただきながら、理科教育の充実の一役を担っていきたいと思います。

謝 辞

この気象談話室をまとめるに当たっては、1994年度日本気象学会奨励金を受けるとともに、日本気象学会教育と普及委員会、埼玉大学教授高橋忠司氏から多くの助言を頂きました。記して、ここに感謝の意を表します。

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
月例会 「レーダー気象」	1997年 1月21日	日本気象学会	気象庁 (東京都千代田区)	気象研究所台風研究部 榊原 均 Tel. 0298-53-8671 Fax. 0298-53-8549
計算科学国際シンポジウム (ISPCES'97)	1997年 1月27日 ～28日	ISPCES'97 実行委員会	虎の門パストラル (東京農林年金会館)	(財)高度情報科学技術研究機構 研究開発部研究開発第1課 中村 壽 Tel. 03-3712-5321 Fax. 03-3712-5552 e-mail: nakamura @rist.or.jp
CEReS 国際シンポジウム 「乾燥・半乾燥地域の環境 問題におけるリモートセン シングの役割」	1997年 1月29日 ～31日	千葉大学環境リモート センシング研究セン ター	千葉大学自然科学研 究科大会議室 (千葉市)	千葉大学リモートセンシング 研究センター 近藤 昭彦 Tel. 043-290-3834 Fax. 043-290-3857 e-mail: kondoh@rsirc.cr. chiba-u.ac.jp
第43回風に関するシンポ ジウム	1997年 1月30日	日本気象学会ほか (共催)	東京大学生産技術研 究所 (東京都港区)	(株)風工学研究所 藤井邦雄 Tel. 03-3237-2811 Fax. 03-3237-2812
第12回北方圏国際シンポ ジウム オホーツク海と流水/水 海の民	1997年 2月 2日 ～ 5日	紋別市、(社)北方圏セ ンター、オホーツク 海・水海研究グルー プ	紋別市民会館・紋別 分化会館 (北海道紋別市)	紋別市役所企画調整課 Tel. 01582-4-2111 内線363 Fax. 01582-3-1833
関西支部1996年度 第4回例会	1997年 2月 7日	日本気象学会関西支部 海洋気象学会 (共催)	神戸海洋気象台仮庁舎 (神戸市)	日本気象学会関西支部事務局 (大阪管区気象台調査課内)